

## くすりのしおり

620138001  
2014年1月改訂

<p>薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。このために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。</p>	
<p><b>商品名：クロチアゼパム錠5mg「ツルハラ」</b> 主成分：クロチアゼパム（Clotiazepam） 剤形：白色の錠剤（直径5.1mm、厚さ2.9mm） シート記載：（表）クロチアゼパム5mg「ツルハラ」、5mg、クロチアゼパム （裏）Clotiazepam5mg、クロチアゼパム5mg「ツルハラ」、5</p>	
<p><b>この薬の作用と効果について</b> ベンゾジアゼピン受容体に作用し、不安や緊張をやわらげます。 通常、心身症（消化器疾患、循環器疾患）における不安・緊張・抑うつ・睡眠障害などの改善、自律神経失調症におけるめまい・肩こり・食欲不振の改善に用いられます。 手術前の過剰な緊張をやわらげるために用いられます。</p>	
<p><b>次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。</li><li>・ 緑内障、重症筋無力症</li><li>・ 妊娠または授乳中</li><li>・ 他に薬を使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、大衆薬も含めて他に使用中の医薬品に注意してください）。</li></ul>	
<p><b>用法・用量（この薬の使い方）</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>あなたの用法・用量は</b> <span style="float: right;">：医療担当者記入</span></li><li>・ <u>心身症、自律神経失調症には</u> 通常、成人は1回1～2錠（主成分として5～10mg）を1日3回服用しますが、治療を受ける疾患や年齢・症状により適宜増減されます。必ず指示された服用方法に従ってください。</li><li>・ <u>麻酔前投薬には</u> 通常、1回2～3錠（主成分として10～15mg）を就寝前または手術前に服用します。必ず指示された服用方法に従ってください。</li><li>・ 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで1回分を飛ばしてください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。</li><li>・ 誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。</li><li>・ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのをやめないでください。</li></ul>	
<p><b>生活上の注意</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 眠気、注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがありますので、車の運転や危険を伴う機械の操作は避けてください。</li><li>・ アルコール（飲酒）は薬の作用を強めることがありますので注意してください。</li></ul>	
<p><b>この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）</b> 主な副作用として、眠気、ふらつき、けん怠感などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。</p> <p><b>まれに下記のような症状が現れ、[ ] 内に示した副作用の初期症状である可能性があります。</b> <b>このような場合には使用をやめて、すぐに医師の診察を受けてください。</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 薬への欲求が抑えられない、けいれん、不眠、不安があらわれる [依存性]</li><li>・ 全身けん怠感、食欲不振、皮膚や白目が黄色くなる [肝機能障害、黄疸]</li></ul> <p><b>以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。</b></p>	
<p><b>保管方法その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 乳幼児、小児の手の届かないところで、光、高温、湿気を避けて保管してください。</li><li>・ 薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。</li></ul>	
<p><b>医療担当者記入欄</b>      年      月      日</p>	

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。